



その2

夜間特訓指導

放課後700時間の徹底サポート

学びは、一日で身につくものではありません。

疑問や不安をその日のうちに解消することが、成長への近道です。

東京メディカル学院では、平日だけでなく、土日や祝日も現役の医学部生や経験豊富な講師が待機し、1日5時間×28週間の夜間特訓を実施。合計700時間もの集中学習を提供します。



クラス授業では学力に応じて生徒を分けていますが、どうしても生徒間に「学力差」が出てしまいます。ウィークリーテストや小テストでフォローするものの、個々の理解度には限界があります。そこで生まれたのが、夜間特訓指導です。
講師一人に対して生徒一人の体制で、個別の学習法とスケジュールを設定し、授業で理解できなかった内容をしっかりと補います。授業とは別に、疑問や課題を解決する時間があることが、成長を後押しする大切なバネとなります。

夜間特訓指導の最大の魅力

放課後の時間を最大限に活かし、予習・復習を徹底。授業後に理解できなかったことをじっくり指導し、納得するまでしっかりとサポートします。疑問をその場で解決し、理解を深めていくことで、合格への最短ルートを走り抜けます。

クラス授業と夜間特訓指導の違い

ある予備校では、クラス替えを頻繁に行い競争心を煽ることもあります。わたしたちの理念は「生徒第一主義」です。学びのスタイルが変わると混乱が生じて成績が伸び悩むこともあります。夜間特訓指導では、生徒の反応を見ながら柔軟に進めるため、分からないまま進むことはありません。一人ひとりに合わせた指導法で、最大限の学習効果を引き出していきます。生徒一人ひとりの性格や問題を解く癖など、気づいていない特徴を引き出すことにも力を入れています。

チューターたちは、「講師への上手な質問方法」や「志望校対策プリントの貰い方」などの、いわゆるかゆいところに手が届くアドバイスも気軽に共有してくれます。チューター自身の模試の結果を見ながら「今の時期に何を勉強すべきか」のアドバイスもくれるので、よりリアルな現在から未来へのイメージが湧いてくることでしょう。
授業だけでなく、夜間特訓指導もチューター制度もうまく活用して、100%フルで東京メディカル学院を利用し合格を勝ち取りましょう。

学習スケジュールについての相談にも応じているので、学びの基盤からを全力でサポートする体制が整っています。ウィークリーテストで基準に満たない生徒には、特別指導も行っています。これまでに経験したことのないような、手厚いサポートを約束します。

